

2013–2020

Paradise

写真33点
写真集：『Paradise』Komma、2020年
序文：アーウィン・オラフ

表紙: *True Self*

フィリピン、フランス領ポリネシア、イスラエル

シリーズ	*Paradise*
制作年	2013–2020
作品数	写真33点
撮影地	フィリピン、フランス領ポリネシア、イスラエル
写真集	『Paradise』Komma、2020年、序文：アーウィン・オラフ
収蔵館	Getty Research Institute, Rijksmuseum, Stedelijk Museum, Tel Aviv Museum of Art

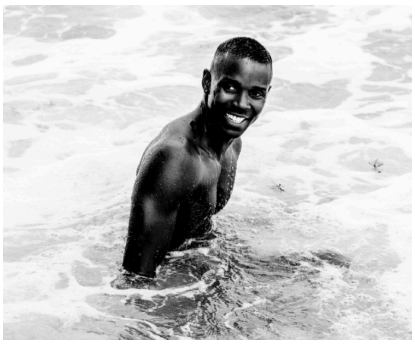
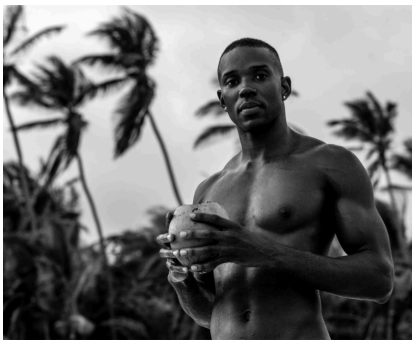
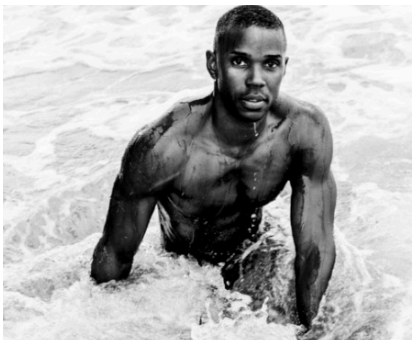
作品がはじめて独自の言語を見いだした場所。

『Paradise』は、ルーベン・ファン・スハルムの視覚言語がはじめて独自の感情の地形として結晶した瞬間をしるしている――人間の身体と自然界が、壊れやすく根源的な調和のなかで出会う空間である。フィリピン、フランス領ポリネシア、イスラエルで撮影されたこのシリーズは、圧倒的でありながら親密な風景のなかにヌードを溶け込ませ、身体を欲望の対象としてではなく、脆さ、憧れ、静かな変容を宿す器として立ち上げる。

個人的な動揺と土地からの引き離しの時期に生まれた『Paradise』は、感情の状態が自然環境の生の力と共存できる場所を探す旅となった。これらの画面に住まう若い男たち――あらかじめ選ばれたのではなく、多くは現地で出会った人々――は、移ろう存在の星座をかたちづくる。彫像のようでありながら壊れやすく、光に満ちていながら落ち着きを欠いている。

ここでの楽園は、手つかずの完全さではない。人間の姿が、それをあらわにし、浸食し、かくまい、変容させる根源的な力と向き合う場所である。

『Paradise』は、ファン・スハルムのその後の作品の概念的な土台を築いた。身体と環境の境界の崩壊、感情の建築としての自然、そして脆さ、欲望、静かな変身の状態のなかに意味を探すこと。

Smile · The Wind · Rush of Water

作家について

ルーベン・ファン・スハルム（1988年生まれ）は、ニューヨーク、アムステルダム、テルアビブを拠点に活動するオランダのビジュアル・アーティスト。写真と映像によって、光、水、天候、そして自然界のゆるやかな時間を記録している。

お問い合わせ：info@rubenvanschalm.com